

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																					
専門学校麻生医療福祉 &観光カレッジ		平成28年3月4日		富田 博之		〒804-0092 福岡県北九州市戸畑区小芝3-3-1 (電話) 093-882-0001																					
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																					
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日		麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3番83号 (電話) 0948-25-5999																					
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																						
商業実務	商業実務専門課程	医事スペシャリスト科		平成22年文部科学省告示 第153号	-																						
学科の目的 診療報酬の医科・歯科・調剤・介護の医療事務資格を取得し、医療現場における幅広い専門知識を身に付ける。病院・クリニック・調剤薬局・福祉施設等で生涯に渡って活躍し続ける人材を育成する。																											
認定年月日 平成26年3月31日																											
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
	2年 昼間	1825時間	990時間	645時間	250時間	0時間	0時間																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
80人		40人	0人	2人	7人	9人																					
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月30日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度、確認テスト等の総合評価を行う。評定は、S・A・B・C・Dの5ランクとする。																						
長期休み	■夏季:8月4日～8月31日 ■冬季:12月22日～1月8日 ■春季:3月6日～4月4日			卒業・進級条件	ア.指定科目全ての修得 イ.各学年の出席率90%以上 ウ.卒業基準検定の取得 エ.学生としてふさわしい生活態度																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人、保護者への電話連絡や面談等を行う			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動等 ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) 病院、診療所、調剤薬局等の医療機関			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																						
	■就職指導内容 担任ならびに就職担当者による受験指導、個別面談 保護者への就職説明会				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療報酬請求事務能力認定試験(医科)</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>歯科医療事務管理士</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>調剤事務管理士</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>介護事務管理士</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	診療報酬請求事務能力認定試験(医科)	③	23人	14人	歯科医療事務管理士	③	23人	22人	調剤事務管理士	③	23人	23人	介護事務管理士	③	23人	22人
	資格・検定名	種	受験者数		合格者数																						
	診療報酬請求事務能力認定試験(医科)	③	23人		14人																						
歯科医療事務管理士	③	23人	22人																								
調剤事務管理士	③	23人	23人																								
介護事務管理士	③	23人	22人																								
■卒業者数: 23人 ■就職希望者数: 22人 ■就職者数: 22人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 95.7%			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																								
■その他 ・進学者数: 0人			■自由記述欄 特になし																								
中途退学の現状	■中途退学者: 1名 平成28年4月1日時点において、在学者43名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者42名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的困難			■中退率: 2.3%																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象0名																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科のホームページURL	http://www.asoju.ac.jp/amkc/subject/is/																										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また現場実習を通じ、医療現場における実践的な技術を習得するとともに、医療業界の動向や求められる知識レベルを把握するため、医療機関や検定試験主催団体等との連携を図ることで、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。さらに卒業生の就職先である企業に対し、お客様アンケートを実施したりすることにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことにより得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。

委員会は、次の事項を審議し、会議の結果をカリキュラム会議に報告するものとする。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

主任等により主催されるカリキュラム会議は、教育課程編成委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
野城 康成	一般社団法人 専門士検定協会 理事長	2017.4.1～2018.3.31	①
大郷 直美	医療法人 おおごう会 理事	2017.4.1～2018.3.31	③
五十嵐 比奈子	専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ 校長代行	2017.4.1～2018.3.31	
幸田 紀子	専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ 医療事務系一	2017.4.1～2018.3.31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間開催数)

2回(毎年6月、11月)

(開催日時)

平成28年度

第1回 平成28年 6月16日 16:00～17:15

第2回 平成28年11月10日 16:00～17:30

平成29年度

第1回 平成29年 6月22日 16:15～16:50

第2回 平成29年11月10日 16:00～17:00 (実施予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「専門知識の以前に、人間性や社会人としての基礎力向上に努めてもらいたい」とのご意見を頂戴した。医事スペシャリスト科は患者様対応を主として仕事をするため、学生の資質教育・キャリア教育を充実はもとより、様々な対象者との対応をするためのスキル向上を目的に、体験型学習を強化し実践力を磨きカリキュラムに改善する。

1.ケアコミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ(科目追加):他者に関わる経験を積む。学科の特性上、様々な対象者を理解する体験の場を設定する。

2.医療業界研究(科目追加):地域包括医療、職業観、倫理観などの調べ学習

3.グローバルコミュニケーション(科目変更):医療機関におけるコミュニケーションツールとして手話や医療英語を学ぶ

4.実践行動学(科目変更):学校生活の目標設定、自己成長の振り返り、自立のための意欲や意識の向上を図る

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

病院等の事務職に広く必要とされる患者さまとのコミュニケーション能力や医療事務知識の実務適応能力の確認を行うことを目的に、医療事務職として医療機関での現場実習を体験させ、実務レベルの技術を身に付ける。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

効果的な実習を実現するため、学生の実習目標を定め、企業等の実習指導者と能力向上の要望を確認した上で実習を行う。実習期間中、学生及び実習指導者とのヒアリングを行い、学生の能力向上が効果的にできるよう助言を実施する。実習終了後、医療機関担当者より本校指定の評価表にて評価をいただく。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
医療事務現場実習Ⅰ	現場の雰囲気や実際の業務を体験し、医療事務員として必要な接遇や医療事務の知識・技術、コミュニケーションを学ぶ	新中間病院、JR九州病院、平田クリニック、小嶺江藤病院、蛍クリニック、まつなが医院 とくなが小児科クリニック、佐々木病院 市立八幡病院、片山整形外科医院 永犬丸野見山皮膚科医院 正和中央病院、戸畑けんわ病院 株式会社メディカル・ブラネット 計19施設
医療事務現場実習Ⅱ	1年次の経験を踏まえ、現場の雰囲気や実際の業務を体験し、より実践的な医療従事者として必要な接遇や専門知識・技術、コミュニケーションを習得する	戸畑共立病院、戸畑けんわ病院、 有限会社医療事務研究会、松井病院 花田歯科医院、株式会社タカサキ ありよし小児科クリニック 株式会社サンキュードラッグ 鍋島眼科医院 計11施設

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「学校法人麻生塾 教職員研修規程」に基づき、計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

北九州地域ケア交流会主催 医療・福祉従事者のためのコミュニケーション研修

目的: 医療福祉従事者の幸せを考えた職場コミュニケーションとメンタルヘルスについて学ぶ

内容: 理解の態度、ストレスを活かす、メンタルヘルスとは、良いコミュニケーションとは、健康な自分作り

講師: 中島 俊介氏(西南女学院大学短期大学部教授、北九州市立大学名誉教授)

日時: 平成29年2月17日

対象: 2年次担任

② 指導力の修得・向上のための研修等

専修学校教員認定制度にかかる新任教員研修

目的: 職業実践的な教育を担う専修学校教員としての指導力向上のため、基礎知識を確実に身に付ける。

内容: 専修学校のあり方と授業実践、自己点・評価の進め方、学校における救急処置

主催: 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

日時: 平成28年8月4日～6日(3日間)

対象: 1年目の新任教員

ID(インストラクショナルデザイン)Ⅰ

講師: 岡村 慎一氏(全国専門学校教育研究会)

目的: インストラクショナルデザインを用いた体系的なカリキュラム、シラバスの開発方法を習得する。

内容: インストラクショナルデザインの概要、学習目標の明確化、効果測定と評価。

日程: 平成28年2月9日 9:00～17:30

対象: 未受講者全員

カウンセリング I

講師: 廣田 哲成氏(日本交流分析協会 准教授)

目的: 学生面談、学生指導における基本的知識を習得する。

内容: カウンセリングにおける傾聴の技法、体験実習、個別面談の心得。

日程: 平成28年 6月16日 16:00～17:30

対象: 1年目新任教員

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

在宅医療事務研修

目的: 在宅医療の現場把握と医療事務に求められるスキルを実際の現場で学ぶ

内容: カンファレンス参加、訪問診療同行、地域包括に関する講義受講

日時: H29年8月25日

研修先: 医療法人博愛会 颯田病院 事務局

対象: 医療事務専任教員全員

② 指導力の修得・向上のための研修等

専修学校教員認定制度にかかる新任教員研修

目的: 職業実践的な教育を担う専修学校教員としての指導力向上のため、基礎知識を確実に身に付ける。

内容: 学生・教員のための実践心理、専修学校と制度、専修学校における職業教育

日時: 平成29年8月1日～3日(3日間)

主催: 一般社団法人 職業教育・キャリア教育財団

対象: 1年目の新任教員

発達障がいの理解について

目的: 発達障がいと思われる学生の特性を知り、学内での対応、支援法を学ぶ

内容: 発達障がいに対する理解、事例を踏まえたワーク、社会に出るまでに習得させること

日程: 平成29年4月27日

講師: NPO法人発達障がい者就労支援ゆあしっぷ

対象: 専任教員全員

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の教育方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者の参画を得て、包括的・客観的に判定する事で、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また情報を公表する事により開かれた学校作りを行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5) 学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	ADの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11) 国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

平成28年度学校関係者評価委員会にて、学内外実習時の安全対策規程の文書化をご指摘いただいたため、直ちに明文化し整備を行った。

医療機関と連携し、現場実習を行っているが、医療機関により実習内容、評価基準が異なることが課題である。今後実習カリキュラムや評価基準を学内で作成し、全実習先に配布、説明を行うよう改善する。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
青木 圭子	福岡県立折尾高等学校 校長	2016.4.1～2018.3.31	高等学校教員
安部 久美子	ホテル・ブライダル科在校生保護者	2017.4.1～2019.3.31	保護者
井手 國昭	三六まちづくり協議会 会長	2016.4.1～2018.3.31	地域住民
伊藤 美穂	ホテル・ブライダル科卒業生	2016.4.1～2018.3.31	卒業生
今仁 優衣	子ども福祉科卒業生	2016.4.1～2018.3.31	卒業生
上田 恵理奈	医療秘書科卒業生	2016.4.1～2018.3.31	卒業生
大郷 直美	医療法人おおごう会 大郷内科クリニック 理事	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
沖田 由美子	レンタルブティック&ウエディング ウィズワタベ	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
北島 武	新門司フェリーサービス株式会社 営業次長	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
城田 浩太郎	介護福祉科卒業生	2016.4.1～2018.3.31	卒業生
竹之内 豊文	株式会社リー・ガロイヤルホテル小倉 グループサービスチーム担当部長	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
能美 和則	学校法人青山幼稚園 理事長	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
疋田 賢吾	医療法人おおごう会 介護事業部長	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
守田 昇平	医療法人医和基会 戸畑総合病院 医事課長	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
山下 照彦	株式会社スターフライヤー 総務人事部部長	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ 毎年9月)

URL:<http://www.asoiuku.ac.jp/disclosure/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供する事で、学校運営の透明性を図ると共に、本校に対する理解を深めて頂く事を目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校法人の沿革、教育の目標、学則、諸規程
(2) 各学科等の教育	学科の教育方針、年次別目標、目標資格、カリキュラム、進級・卒業要件、他
(3) 教職員	教員一覧、専任・兼任教員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	グローバルシティズンベーシック、インターンシップ、教育課程編成委員会
(5) 様々な教育活動・教育環境	学園祭、ボランティア活動、クラブ活動
(6) 学生の生活支援	臨床心理士による学生相談室、ハラスメント相談、留学生支援、障がい者支援
(7) 学生納付金・修学支援	金額・納付時期、分割納入制度、授業料減免、奨学金、被災地支援
(8) 学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

パンフレット、募集要項、学生便覧、Webサイト

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/amkc/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程医事スペシャリスト学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			医療事務医科基礎	診療報酬点数算定の基礎知識を学ぶ	1前	45		○	△		○		○		
○			医療事務医科演習	医科レセプト作成の知識を学ぶ	1前	60		○	△		○		○		
○			医療事務医科総合演習	カルテを用いた点数算定及びレセプト作成の総合演習を行う	1後	120		○	△		○		○		
○			医療事務医科応用	診療報酬の算定、レセプト作成を行う（応用編）	2前	75		○	△		○		○		
○			医療事務医科実践	カルテに記載されている内容を総合的に読み取り、点数算定、負担金計算、レセプト作成を行う	2後	45		○	△		○		○		
○			医療保険制度	医療従事者として必要な法律及び、医療事務の仕事内容を学ぶ	1前	15		○			○		○		
○			医事関連法規	診療報酬請求事務能力認定試験の学科問題対策授業	1後	30		○			○		○		
○			医科点数表の解釈基礎	診療報酬請求事務能力認定試験の学科問題対策授業	1前	15		○			○		○		
○			医科点数表の解釈実務	診療報酬請求事務能力認定試験の学科問題対策授業	1後	30		○			○		○		
○			医療秘書実務	病院の役割を知り、医療事務員に求められるスキルや知識を学ぶ	1前	15		○			○		○		
○			病院事務実践	病院の現場に必要な専門用語やカルテを読み取る知識、各書類の様式や保険手続きの知識を学ぶ	2後	15		○	△		○		○		

○		ケアサポート 実践	医療福祉の現場において、実践的な経験を し、医療従事者として求められる知識や技 術、心構えを学ぶ	2 後	15		△	○	○	○								
○		ケアサポート 演習	高齢者など医療機関で関わる対象者の理 解、援助や介助方法を実践的に学ぶ	2 前	15		△	○	○	○								
○		医事会計シス テムⅠ	電子カルテ、医事会計コンピュータの知 識、診療内容入力を学ぶ	1 後	15		△	○	○	○								
○		医事会計シス テムⅡ	電子カルテ、医事会計コンピュータの知 識、診療内容入力を学ぶ	2 後	15		△	○	○	○								
○		基礎医学Ⅰ	体のメカニズムや病気のしくみとその治療 等を学ぶ	1 前	15		○		○									○
○		基礎医学Ⅱ	体のメカニズムや病気のしくみとその治療 等を学ぶ	1 後	30		○		○									○
○		基礎医学Ⅲ	体のメカニズムや病気のしくみとその治療 等を学ぶ	2 前	15		○		○									○
○		基礎医学Ⅳ	体のメカニズムや病気のしくみとその治療 等を学ぶ	2 後	15		○		○									○
○		メディカルク ラーク(実技 Ⅱ・学科)	医療事務技能審査試験(メディカルーク(医 科))受験(実技・学科)に向けて取り組み を行う	2 前	30		○	△	○	○								
○		レセプト点検 Ⅰ	診療報酬の算定に即したレセプト点検の仕 方を学ぶ	2 前	15		○	△	○	○								
○		レセプト点検 Ⅱ	レセプト点検の技術、診療報酬請求の仕方 など実務に即した内容を学ぶ	2 後	15		○	△	○	○								
○		メディカルク ラーク(実技 Ⅰ)	医療事務技能審査試験(メディカルーク(医 科))受験(実技・学科)に向けて取り組み を行う	2 前	15		○	△	○	○								○
○		院内接遇	医療機関で求められる受付での患者対応の 仕方や接遇について習慣する	2 前	15		○		○									○
○		院内接遇演習	受付での患者対応の仕方や接遇について実 践的に学ぶ	2 後	15		△	○	○	○								○

○		ケアコミュニケーションⅠ	医療福祉の現場において、実践的な経験をし、医療従事者として求められる知識や技術、心構えを学ぶ	1前	30		△	○	○	○	○	○	○
○		ケアコミュニケーションⅡ	医療福祉の現場において、実践的な経験をし、医療従事者として求められる知識や技術、心構えを学ぶ	1後	30		△	○	○	○	○	○	○
○		ケアコミュニケーションⅢ	医療福祉の現場において、実践的な経験をし、医療従事者として求められる知識や技術、心構えを学ぶ	2前	30		△	○	○	○	○	○	○
○		GCBⅠ	感謝心、思いやりの大切さについて学び、自分のあり方を考えさせる	1前	15		○		○		○		
○		GCBⅡ	志の教育を行う	2前	15		○		○		○		
○		実践行動学Ⅰ	学校生活のスタートラインに立っている時期に過去の自分を振り返り、現在・近未来の自分について考えることを通して短期目標を設定する	1前	15		△	○		○		○	
○		実践行動学Ⅱ	入学から現在までを振り返り、自らの成長の足跡を確認し、自己の潜在的な能力や可能性を引き出す考え方や意識の持ち方に気づき、自立に向けた技術・方策を考える	1後	15		△	○		○		○	
○		実践行動学Ⅲ	これまで学校で学んだことをベースに、自信や希望を持って次のステップ(就職)に望んでいくための意欲・意識を養う	2後	15		△	○		○		○	
○		社会教養Ⅰ	社会が求める人材や働き方を知り、就職意識を高め、自己分析を行う	1後	30		△	○		○		○	
○		社会教養Ⅱ	就職に必要な知識や力を身につける(面接・履歴書指導)	2前	15		△	○		○		○	
○		社会教養Ⅲ	就職に必要な知識や力を身につける(面接・履歴書指導)	2後	30		△	○		○		○	
○		卒業論文	「自ら考え・自ら学ぶ」をテーマに各個人が論文作成に取り組む	2後	45		△	○		○		○	
○		医療業界研究	医療福祉業界において、それぞれの医療機関や施設の特徴や役割を調べ発表し、情報を共有する	2後	30		△	○		○		○	
○		見学実習指導	見学実習に対する指導、動機付け及び実習後の振り返りを行う	1後	30		△	○		○		○	

○		実習指導Ⅰ	実習前後の指導。実習の心構え、目標設定や実習の振り返り、発表を行う	1 後	30		△	○	○	○				
○		実習指導Ⅱ	実習前後の指導。実習の心構え、目標設定や実習の振り返り、発表を行う	2 前	30		△	○	○	○				
○		医療事務現場実習Ⅰ	現場の雰囲気や実際の業務を体験し、医療事務員として必要な接遇や医療事務の知識・技術、コミュニケーションを学ぶ	1 後	80				○	○	○	○		
○		医療事務現場実習Ⅱ	1年次の経験を踏まえ、現場の雰囲気や実際の業務を体験し、より実践的な医療従事者として必要な接遇や専門知識・技術、コミュニケーションを習得する	2 前	80				○	○	○	○		
合計				57	科目		1825	単位時間(単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
ア. 当該学科の所定の科目をすべて履修していること。 イ. 卒業基準検定を取得していること。 ウ. 学年の出席率が90%以上であること。 エ. 各授業科目の授業回数の3分の2以上出席し、Cランク以上の評価を取得する。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。